

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-4-3		事業名	(仮称)札幌広域ドライブルートマップ作成事業			
担当	観光文化局観光部観光企画課 西田 211-2376						
全体計画							
事業内容	観光客の移動手段が多様化し、個人客についてはレンタカーにシフトしてきている。その中、札幌での滞留率を高め、札幌および札幌周辺エリアの魅力を再認識してもらうことを目的に、札幌を基点とした自動車での日帰り圏内(石狩・空知方面、後志方面、胆振方面)の札幌広域ドライブルートマップの制作を行う。			<年度別の事業内容>			
				札幌広域ドライブルートマップの制作(各方面10,000部) [平成20年] 後志方面 [平成21年] 胆振方面 [平成22年] 石狩・空知方面			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	/			/			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
参画施設の入場者数の伸び率		-	-	-	0.75%アップ	1.5%アップ	1.5%アップ
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 市民がお勧めするスポットをドライブルートマップに盛りこむなど、市民が参加しやすい手法を検討していく。</p> <p>企業等との連携、協働 [資金・人材・情報協力]札幌広域ドライブルートマップを連携事業として制作していく上で、関係市町村に対し資金・人材・情報協力を得ながら、事業を進めていく。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-4-3		事業名	(仮称)札幌広域ドライブルートマップ作成事業		
評価(成果)			課題			
			関係市町村との連携事業として行っていく上で、人的協力、経費的(負担金など)協力を得るため、円滑な連携事業体制を構築していく必要がある。 平成21年度から事業を実施し、連携事業として推し進めていくためにも、関係市町村との調整・打ち合わせなどを行い、下地づくりをしていく必要がある。 下地づくり、事業実施にむけた事業予算の確保も急務である。			
			今後の事業の予定・方向 平成21年度の事業実施にむけ、課題を整理・解消するなどの作業をおこなっていくが、連携事業として進めていく上での、連絡・調整等の事業予算が確保されていない。 そのため、平成22年度事業実施(平成21年度は実施準備期間と位置付ける)ということも視野にいれ、検討を進めていく。			
事業費の推移						
	項目	19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	4,000	4,000	4,000	12,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
予算	事業費	0	0	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				0.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体) 平成20年度からの事業実施を予定していたが、予算措置がなされなかったため、事業計画を変更しなければならない。そのため、成果指標に掲げていた「参画施設の入場者数の伸び率(平成22年度末目標1.5%アップ)」についても再考する必要がある。 今後は、事業実施にむけ、計画内容を精査(事業規模・時期)、課題解消していく。						